

新 市 町

東海村



根本町長

1. 沿 章

この村は水戸から北東15軒の附近に位し、東は太平洋の波瀾に臨み、北は久慈川を境として日立市に、西南は那珂町および勝田市に隣接している肥沃な農耕地帯で、太平洋に面する砂浜は東南那珂湊市阿字ヶ浦から北東久慈川河口にかけて弧状を画き、怒濤さかまか波と北東風にあらわれ、風光明媚な白砂青松の海浜となつている。この地方は多くの古墳貝塚によると石器時代特に縄文式中期頃から部落が形式されていたようで、中世には久慈郡の美和郷、神崎郷に属し、延暦16年に坂上田村麿が蝦夷征伐にきた際如意輪寺を創建したと伝えられ、また石田三成の検地後は那珂郡に編入されたその後慶長7年佐竹氏が秋田へ移封されてから徳川氏の所領として明治維新を迎えたのである。戦後工都日立、勝田の両市に挟まれ農村としては特殊な位置を占めていたが、昭和30年3月31日には村松、石神の両村が合併その名も雄壮な東海村が誕生し、面積35.52平方軒、世帯数1,912、人口12,025人(男6,063人、女5,962人)を有することになったが、海岸地帯に昭和32年8月から日本原子力研究所のわが国最初の原子炉が建設され、また33年8月には原子燃料公社の東海精練所が完成し、今や近代科学のシンボルである原子力工業基地として大きな脚光を浴び一躍世界の檜舞台にのし上り、今後の大きな発展が期待される。

2. 産 業

まず農業面を見ると、農家戸数1,525、農家人口9,326人(男4,699、女4,727)、耕地面積1,561町(田453町、畑1,104町、樹園地4町)に達し、なかでも畑地の大麦358町、小麦410町、なたね135町、大豆137町、さつまいも581町、たばこ49町などが目立っている。(昭和32年冬、夏期農業調査)この特産物は何といつても、さつまいも320万メ、かんすういも30万メ、苗木類250万本で、東北、北海道方面へ出荷して非常に好評を受けている。次に畜産面を見ると、乳牛46頭、役牛406頭、馬69頭、めん羊15頭、山羊111頭、豚1,332頭、兎98頭、にわとり7,014羽に達しているが、(昭和32年2月冬期農業調査)養豚組合の統合強化と種豚70頭の貸付に伴って豚の飼育が急速に普及し、今では肉豚約1,000頭、仔豚1,000頭を毎年芝浦市場をはじめ県内に出荷して大きな収入源となっている。また酪農経営農家も適切な指導と奨励によって次第に多くなり、農業経営の多角化と機械化が進んできた。ここでは毎年村松虚空蔵尊の縁日に牛、豚の畜産共進会を開いて大きな成果を取っている由。

次におもな農機具の普及状況を見ると、電動機104台、石油発動機352台、トラクタ5台、動力耕うん機3台、脱穀機423台、足踏脱穀機674台、動力糶すり機63台、製粉機29台、精米麦機123台、噴霧機109台、動力製菓機42台、製糰機239台、畜力カルチベーター101台、畜力碎土機91台、畑用播種機200台、畜力用すき199台にのぼっている。(昭和32年2月冬期農業調査)

次に商工業面を見ると、まず法人および常用労働者を

4. 財 政

昭和32年度一般会計歳入歳出予算(11月)

(単位円)

歳入	村税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄付金	繰入金	繰越金	雑収入	村債	合			
20,891,221	8,533,000	1,140,100	194,000	497,752	296,968	120,002	150,001	550,000	1,254,301	400,000	33,888,838				
歳出	議会費	役場費	警消防費	土木費	教育費	社会及び保健労働施設費	健康衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合
993,100	8,723,268	1,821,922	7,887,400	796	299,624	1,126,142	142,364	154,127	100	260	188,570	646,551	2,518,208	88,838	33,888,838

有する個人商店数19、従業者65名、年間販売額5,157万円、常用労働者のいない個人商店数95、従業者159名、年間販売額(6月)667万円であり、(昭和31年7月調査)大部分が小規模な雑貨、衣服身廻品、食料品工業である。また工場数は7、従業者85名、年間製造額6,802万円に過ぎない。(昭和31年12月工業調査)

3. 教育文化

ここには小学校3、中学校1あつて、小学児童1,547名(男774、女766)、中学生徒709名(男352、女357)に達しており、(昭和32年5月学校基本調査)、村として合併前の昭和23年にすでに他市町村に先がけて中学校統合を実現し、学校施設の拡充強化と教育内容の充実を図っている。また青年婦人団体も公民館を中心として報の発行をはじめ、生活改善、冠婚葬祭の簡素化、観賞会、講演講習会、親と子の座談会、勤労奉仕、T撒布、敬老会、運動会、産児制限、衛生講話などを催し新しい村作りの大きな推進力となっている。国民健康保険組合は32年7月に全村加入を実現し、33年1月在で加入世帯数1,406、被保険者7,856名となつており、村からも60万円支出している。消防団も合併とともに組織の統合強化を図り、自動三輪車ポンプ1台、ガソリンポンプ6台、腕用ポンプ17台、貯水槽54基を有し、防火対策の万全を期している。

ここには名所旧蹟が多く、まず昔から十三詣で帯に知られる村松虚空尊は大同2年に弘法大師が東遷の際創立し、平城天皇の御代に勅額を村松山神宮に賜わり、足利、江戸時代にかけて、佐竹、徳川氏のなごりを受け隆盛をきわめた。またその後方には大神、手力雄命、栲幡千千姫命を祭り千数百年前に祀られ、徳川光圀公が元禄9年伊勢皇大神宮の分霊をたどると伝えられる大神宮とその御神池の阿漕浦は片目川の伝説で知られている。また砂丘から松林、海辺の自然美は水戸八景の一つとして「村松の晴嵐」に付けられた。さらに真崎と舟塚の貝塚と古墳は非特規模も大きく、縄文式文化の教育研究に貴重な資料となっている由。また真崎浦は村松沼、寺沼、素絹の沼とされ、安政年間にならぬ西野長次郎氏が水戸藩の御用を得てこの沼附近一帯の開墾をはじめ、今では美しき園が100町を越えるようになっている。照沼の寺は昭和12年に創立されたわが国屈指の国立療養所であり、結核予防治療の一大センターで、別当古墳、寺、石神城跡などがあるが、さらに日本原子力研究所、日本唯一の原子力センターとして県内は無論全国有名、無名の見学者で毎日ぎわっている由。

根本村長の抱負

1. 農業経営の高度化を図つてゆく。
2. 小・中学校の整備は、その施設のぎでなく都市と相まって都市に劣らざる施設強化を図りたい。
3. 都市計画は早急に立てる準備をせねばならない。
4. 将来固定資産税の増収に伴い、住民税の引き下げを考慮する。
5. 以上の点は相互関連があり、基本的には村民の立場から村政を行つてゆく。

の 横 顔

河内村



田谷村長

1. 沿革

この村は竜ヶ崎市からバスで約35分、稲敷郡の最南端に位し、東は金江津村を経て東村と沃土を連ね、南は坂東太郎利根川を隔てて千葉県栄町に、西は北相馬郡利根町および竜ヶ崎市に、北は新利根川を境に新利根村にそれぞれ隣接し、文字どおり関東平野を形成する沃野地帯であるその昔この地方はほとんど葦の原で泥炭地帯が多く、信太郡東条荘、河内郡谷原領に属し、徳川時代には幕府の直割領として代官の支配を受けていたが、生板地区を除いてはほと

と、元禄年間に先覚者の手によって粒々辛苦の未開拓された水田地帯である。明治4年の廃藩置県によって新治県、明治8年には茨城県へ順次編入され、明治13年の市町村制実施によって旧生板、源生田、長竿の3村が合併したが、昭和30年5月8日には三村が合併し、面積23.02平方千、人口8,716人(男4,226、女4,490)、世帯数1,471を有する新村が発足し、全村民の融和協調によって平和で明るい村づくりに力強い足跡を示して、なお2月15日には隣の金江津村と合併して大河内村となり、農業茨城の穀倉地帯として全住民の福祉増進のために一大飛躍を約束されている。

2. 産業

農業面を見ると、当村は利根川の増水により、過剰に風水害の洗礼を受け、利根堤防の補強工事も、先覚者の手によって着々進捗し、災害との闘いもようやく打ち勝った。過去15、6年にわたる土地改良事業の功によって泥炭地帯の大部分は美しい土毛作田が続き、農家戸数も1,282戸、農家人口8,061人(男3,914、女4,150)、耕地面積1,620町(田1,328町、畑290町、山林原野214町を有するようになった。なお、入予定の金江津村には水田873町、畑153町、原野60町を有している。(昭和32年8月夏期調査)おもな農産物は何といつても米と麦類で農家収入の大きな源泉となっており、最近では折衷苗代の普及と陸田の奨励に成功し、施設の整備と相まって、なお一層の収入増加が期待される。また東京市場への出荷を目標として蔬菜園芸作物の改良進歩がめざましい。

畜産面を見ると、乳牛37頭、役牛602頭、馬98頭、豚頭、にわとり6,100羽に達し、(昭和32年2月冬期調査)養豚組合、酪農組合の育成強化と適切な指導のもと次第に有畜化が進んでいる。またおもな農機具の普及状況を見ると、電動機571台、石油発動機140台、動力機167台、精米機492台、精麦機341台、畜力カッター39台、動力耕うん機11台、脱穀機711台、すり機423台、噴霧機5台、人力噴霧機437台、動力機28台、製糶機268台で次第に農業の機械化が進んでいる。この地方は農家の副業としてわら加工が非常に盛んで年間約10万枚の束を出荷していることは注目すべきである。

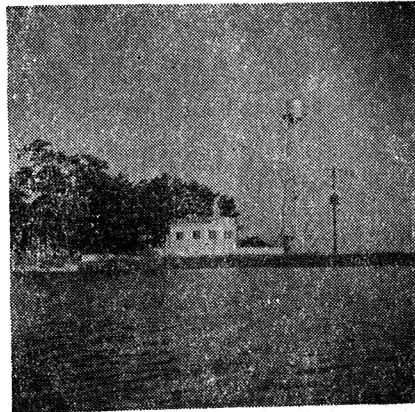
商工業面を見ると、まず法人および常用労働者を有する個人商店6、従業者26名、年間販売額6,140万円、常用労働者のいない個人商店83、従業者171名、月間販

売額(6月)862万円に過ぎず、工場数も5、従業者18名、年間製造出荷額253万円ではほとんど見るべきものはない。(昭和31年7月、12月商業、工業調査)

3. 教育文化

ここには小学校3、中学校3あつて、小学児童1,313名(男695、女618)、中学生徒601名(男286、女315)を有しており、(昭和32年5月学校基本調査)、村当局の教育優先の方針にもとづいて常に学校施設の整備拡充を行っている。昨年6月には長竿中学校の164坪を焼失したが、工費200万円を投じ取りあえず2教室を小学校に増築して急場をしのいだ。33年中には中学校の統合を実現し、近代的施設を有する中学校が誕生することも遠いことではない。公民館活動も活発で、婦人学級および青年学級も農閑期を利用して開設しており、冠婚葬祭の簡素化、時間の励行、迷信の打破、衣食住の改善などを行い、立派な成績を取っている。特に長竿下組部落は32年に生活改善のモデル地区となり、県からも表彰を受けた。また婦人会では季節保育所を設けて150名を収容し、村民から非常に感謝されている。国民健康保険組合は全村加入を実現し、30年4月には村営の診療所が開設され、病室8を有し、医師外職員5名が村民の健康管理と保健衛生に縦横の活躍を続けている。また村民待望の簡易水道工事は32年3月に完成したが、総工費8,400万円、最大給水能力5,000人分、設置世帯800戸の近代的設備を有し、利根川の水汲みによる労苦を一掃し、全村民の大きな喜びと誇りの一つとなっている。消防施設も年を追って拡充強化され、現在四輪車ガソリンポンプ3台三輪車ポンプ2台、手引7台、随用7台を有し、防火水槽の完備と相まって、火災予防の万全を期している。納税組合の育成強化に伴って納税成績も85%を越えるようになり、計画納税を奨励している。この地方は天然ガスの埋蔵が豊富で多くの家庭で燃料に利用しており、その工業化が将来の課題となつている。なおテレビが最近50台を突破していることも農村としては珍しいことである。

ここには名所旧蹟は少いが、富士、筑波を遠望する淨玄橋附近の釣場はまさに一幅の絵であり、田園風情にあふれる詩情ゆたかなところである。



(完成した水道施設)

4. 財政

昭和32年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

村 税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄付金	繰入金	繰越金	雑収入	合計				
130,165,350	6,100,000	200	152,000	390,000	791,000	1,000	—	10,000	130,000	27,739,550				
議会費	役場費	警察消防費	土木費	教育費	社会及び労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
542,050	6,759,660	1,569,300	1,257,000	6,114,260	470,750	284,000	2,386,220	120,000	232,500	117,500	970,000	6,809,600	1,067,710	27,739,550

生産動態調査

繊維部門

(昭和33年1月度分)

(調査企画課商工調査係)

概況

織物

綿織物の生産は前月度の約4%増、引渡高は約4%減と略前月度水準を維持している。

絹織物の生産は前月度の約1%減、引渡高は約30%減となっている。

和紡織物は問屋よりの注文少なく、生産高は前月度の約87%減と大巾に減少し、引渡高も60%減少している。

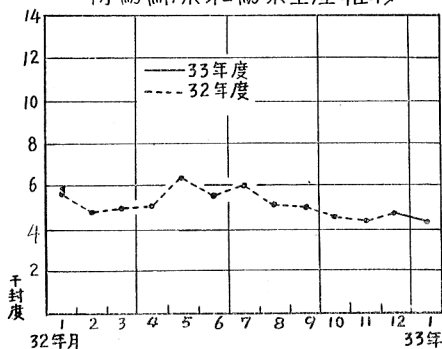
メリヤス製品

メリヤス製品の生産は春夏物生産には間があり、前月度より約30%減少し、引渡高も約24%減少している。

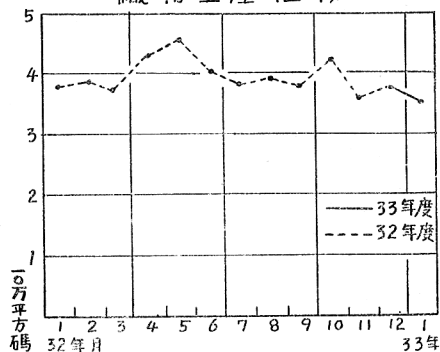
縫製品

縫製品は冬物より春物生産への切替時期にあるので作業服の生産高および引渡高の増加が目立つ程度でそれ以外の目は生産高、引渡高とも減少し、月末在庫高は増加した。

特紡綿糸和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製
対象	5	17	319	11	3	14	
操業	5	14	292	11	3	14	
休止	—	3	27	—	—	—	

生産および出荷状況

品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
		当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
計	封度	41,930	91	71,640	142	25,540	46
綿	糸	17,500	73	46,600	168	14,500	33
ス	コフ	12,700	109	12,500	84	1,400	117
特	紡綿	4,750	100	5,000	100	500	67
和	紡	6,980	124	7,540	288	9,140	94
織物	計	349,985	94	329,861	96	273,315	105
綿	織物	255,653	104	243,124	96	129,302	112
絹	織物	36,527	97	19,524	76	81,360	126
絹	紡織物	4,787	127	4,232	103	5,185	112
和	紡織物	6,576	13	11,113	40	46,583	76
特	紡織物	—	—	—	—	—	—
ス	フ織物	15,741	215	15,741	215	—	—
人	絹織物	—	—	—	—	—	—
合成	繊維織物	30,701	101	36,127	134	10,885	67
メリヤス	生地	4,034	73	3,825	58	669	142
製品	計	9,368	70	10,384	76	9,603	110
肌	着	1,311	60	1,209	54	535	124
外	衣	142	67	142	67	—	—
手	衣	6,115	71	6,302	68	5,898	139
靴	下	1,800	75	2,731	139	3,170	77
計	封度	2,441	172	2,489	160	2,791	112
漁	網	648	78	1,074	53	854	67
漁	具	1,793	304	1,415	165	1,937	159
学	校	1,179	73	1,169	62	1,314	101
作	業	5,907	177	4,234	125	1,775	192
制	服	3,129	51	3,129	51	—	—
乳児	および子供	248	24	308	18	945	171
服							
既	成	4,315	72	4,690	72	2,904	99
中	衣、肌	11,101	37	14,924	36	62,689	94
中	入	99,067	98	98,927	95	22,444	101
ふ	とん	245,297	98	227,601	89	81,485	128

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

機 械 部 門

(昭和33年1月度分)

概 況

◎本年1月度より新たに機械製造業についても公表することにした。通産省生産動態統計機械調査は大企業については通産局扱、中小企業については県扱となつているので、この調査によつて本県工業の推移をもとめることは困難であるが、中小企業の動向を見るのには相当有意義と思われる。すなわち本県中小企業の動向を生産面より見ると、時期的なずれはあるにせよ上昇、転換、下降という日本経済の動向と同一過程をふんだことがグラフにもはつきりあらわれているのである。

昨年 の 概 況

上旬 31年に引続き好況で生産が季節的に下降期にもかかわらず31年の水準を維持した。

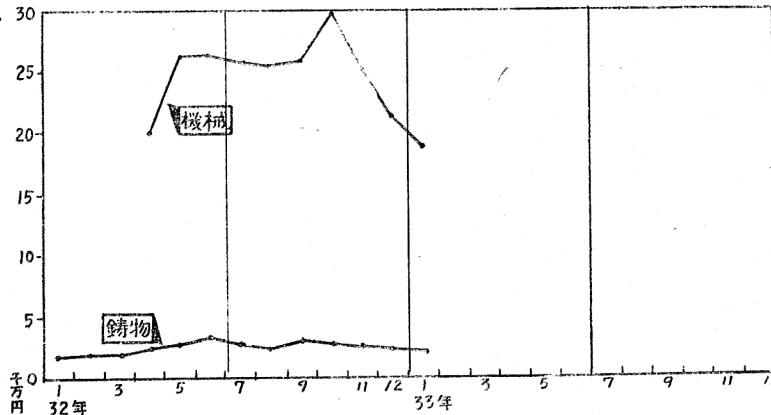
中旬 引続き好景気がつづいたが、いわゆる投資景気のため国際収支が悪化し、それにとまない金融引締政策が行つた結果生産は下降頭打状態となつた。

下旬 国際収支の改善がなされ、早くも10月に収支が黒字になるや景気を持直しを見せたが対外依存の経済のためリカを一連とする世界経済の不況の波にのまれふたたび下降をつづけながら年を越した。

1 月 度 概 況 機械工業についての対比は困難であるが生産金額については前月より25%の減少である。

鋳物工業は総合では前月対比は13%の減であるが前年同月対比は10%の増である。

生 産 金 額 の 推 移



機 械 工 業

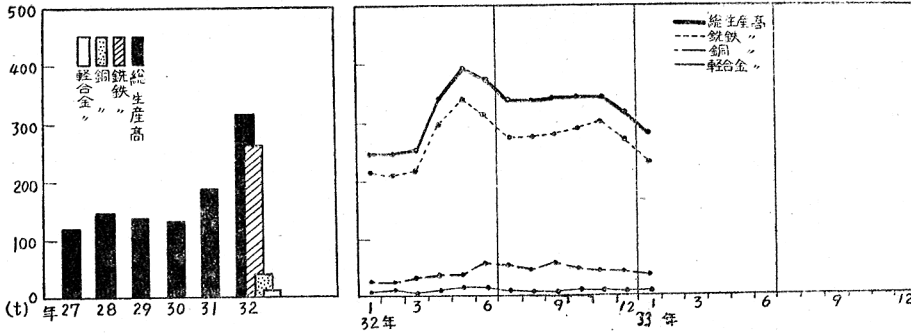
(数量=kg、金額=千円)

33 金 属 製 品 製 造 業	34 機 械 製 造 業		341 ボイラー原動機製造業		342 農業用機械製造業		344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用機械装置製造業	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
33,453	8,264	84,751 421基	41,958	14,620	3,006	9,258	6,672	18,400	5,210	23,652		
349 その他の機械、機械部分品製造業	351 発電用送電用配電用産業用電気機械器具製造業		354 通信機械器具同連関連機械器具製造業		357 電気計測器製造業		377 時計同部分品製造業		36 輸送用機械器具製造業		機械工業	
18,821 421基	13,064	3,932台	47,265	1,328台 2,018個	13,396	4,865個	2,933	464,306個 104,800	58,051	223,004 4,721台 469,999個 421基		
対 象 事 業 所 数				44		対 比		前 月				
事 業 所 実 人 員				2,929				前 年 同 月				

※ 本表は下記の定義にもとずいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Ⅰによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場で従業員20名以上(特例超硬工具自転車工業作業工具5名以上)を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
3. 数量欄中kgで表わせない品目は個数等による。

鑄物生産高の推移



鑄物工業 (重量=kg、金額=千円)

品目	鑄物総数		鉄鉄鑄物		銅鑄物								アルミニウム鑄物	
					銅		青銅		黄銅		その他銅			
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額
産業機械器具用	148,569	13,278	144,798	11,375	132	77	2,362	1,108	18	9	181	145	1,078	564
船舶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路及び車輛用	6,728	1,118	5,375	472	—	—	522	231	219	79	—	—	612	336
電気通信	49,142	9,154	36,812	3,189	3,938	2,166	6,720	2,979	—	—	—	—	1,672	820
漁具	2,108	214	2,100	210	—	—	—	—	—	—	—	—	8	4
船舶	1,324	652	—	—	—	—	1,162	546	62	26	—	—	100	80
日用品	9,452	683	9,452	683	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
および鑄型定盤	7,800	273	7,800	273	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ボール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受メタル	10,511	7,613	—	—	—	—	10,511	7,613	—	—	—	—	—	—
ブツ	11,218	3,610	—	—	—	—	5,014	1,749	6,204	1,861	—	—	—	—
築用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
密機器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自動車	4,350	1,930	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,350	1,930
その他の機械器具	21,504	1,450	21,017	1,261	—	—	487	189	—	—	—	—	—	—
その他	2,865	302	2,762	254	—	—	68	36	—	—	—	—	35	12
計	275,571	40,277	230,116	17,717	4,070	2,243	26,846	14,451	6,503	1,975	181	145	7,855	3,746
比	前月	87	88	85	84	—	—	97	89	—	—	—	100	99
前年同月	110	125	106	108	—	—	158	155	—	—	—	—	101	103
対象事業所数	25	—	16	—	—	—	10	—	—	—	—	—	6	—
事業所当該人員	718	—	454	—	—	—	290	—	—	—	—	—	102	—

本表は下記の定義にもとづいたものである。

- 鉄鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
- 鑄物総数中対象事業所および事業所人員欄は実数である。

雑貨部門

(昭和33年1月度分)

概況

草 靴

今月の生産は338足で前月に比べると13%の減であり前年同月より37%の減少である。

漆 器

今月は生産60%出荷52%と共に低下した。これは正月に入ってから発注が大幅に減少したためと思われる。

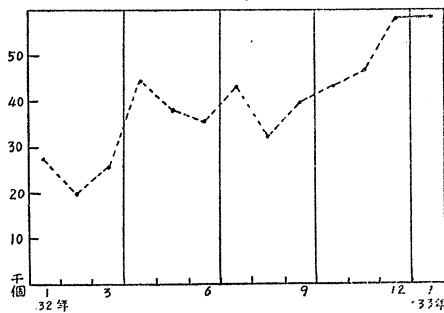
建築用コンクリートブロック

今月の生産は58,552個で前月に比べると1%の増加であるが出荷においては42%の減を示している。

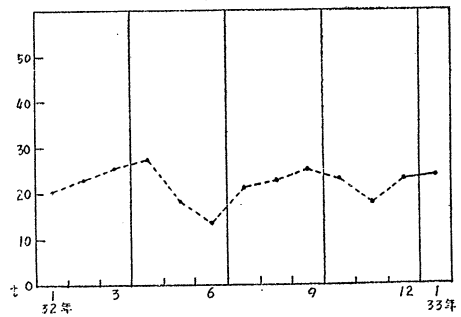
陶 磁 器

今月の生産数量は231,988kgで前月に比べると1%の増加であり前年同月より12%の増加である。

コンクリートブロック製品の推移



陶磁器製品の推移



品名	区分	単位	生産数量			出荷数量						月末在庫 数量	事業所 数 (操業)	
			数量	前月 対比	金額	国内向			輸出向					
						数量	前月 対比	金額	数量	前月 対比	金額			
靴	総数	足	338	87	782	348	81	917	—	—	—	410	5(5)	
	男子総革靴	〃	191	75	548	204	75	595	—	—	—	178		
	婦人	〃	136	101	228	133	86	316	—	—	—	232		
	その他靴	〃	11	—	6	11	—	6	—	—	—	—		
食器	総数	個	1,669	60	904	1,459	52	877	—	—	—	271	12(9)	
	食器類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	食卓、膳盆類	〃	469	38	79	369	30	67	—	—	—	100		
	その他	〃	1,200	77	825	1,090	70	810	—	—	—	168		
コンクリートブロック	総数	個	58,552	101	1,990	37,931	58	1,345	—	—	—	82,587	5(5)	
	A種	基本型	〃	2,060	21	62	3,314	35	123	—	—	—		7,106
		異型	〃	2,143	32	69	2,081	28	59	—	—	—		4,173
	B種	基本型	〃	2,840	184	85	1,560	83	62	—	—	—		1,756
		異型	〃	675	150	20	540	104	21	—	—	—		701
	C種	基本型	〃	29,347	164	1,014	18,589	88	711	—	—	—		28,594
		異型	〃	3,419	54	117	3,170	62	125	—	—	—		8,345
帳壁用ブロック	〃	18,068	122	623	8,677	44	244	—	—	—	31,912			
電気用品	総数	疋	231,988	101	23,066	178,354	72	22,558	—	—	—	204,163	21(20)	
	特別高圧用碍子	〃	36,970	87	14,283	36,970	87	14,283	—	—	—	—		
		高圧用碍子	〃	1,532	64	1,829	1,532	64	1,829	—	—	—		—
		低圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
		その他	〃	4,876	123	5,110	4,811	124	5,040	—	—	—		265
	家庭用品	〃	138,610	99	1,344	91,041	58	994	—	—	—	192,598		
衛生用品	〃	50,000	124	500	44,000	106	412	—	—	—	11,100			
その他	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200			

※対象工場数、生産数量及び出荷数量において2以下の事業所については公表を禁じられているので、金属洋食器、赤れんが、がん具、がらす製品は除外した。

革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

本県における昭和31年

昭和32年5月31日現在

税 目	調 定 済 額				取
	現 年 度 (イ)	過 年 度 (ロ)	繰 越 分 (ハ)	計 (ニ)	現 年 度 (イ)
一 普 通 税	3,663,570	19,657	992,141	4,675,368	3,330,290
1. 法定普通税	3,663,570	19,657	992,141	4,675,368	3,330,290
(1)市町村民税	825,607	17,494	288,665	1,131,766	759,688
イ個人均等割	120,984	—	58,335	179,319	—
ロ個人所得割	541,761	2,331	213,219	757,311	—
ハ法人均等割	4,957	65	2,361	7,383	4,588
ニ法人税割	157,905	15,098	14,750	187,753	152,288
(2)固定資産税	1,968,461	1,808	646,895	2,617,164	1,721,914
(イ)純固定資産税	1,887,985	1,808	646,895	2,536,688	1,641,438
(イ)土 地	1,061,463	60	381,734	1,443,257	917,668
(ロ)家 屋	648,507	173	233,471	882,151	560,600
(ハ)償却資産	178,015	1,575	31,690	211,280	163,177
ロ交付金納付金	80,476	—	—	80,476	80,476
(イ)交 付 金	13,602	—	—	13,602	13,602
(ロ)納 付 金	66,874	—	—	66,874	66,874
(3)自転車荷車税	153,924	—	47,664	201,588	136,628
(4)市町村たばこ消費税	419,560	196	—	419,756	419,560
(5)電気ガス税	247,953	159	8	248,120	247,953
(6)鉱 産 税	40,126	—	3,883	44,009	38,621
(7)木材引取税	7,592	—	4,756	12,348	5,652
(8)入 場 税	347	—	270	617	—
2. 市町村法定外普通税	—	—	—	—	—
二 目 的 税	24,646	—	—	24,646	21,646
1. 都市計画税	24,646	—	—	24,646	21,646
2. 水利地益税	—	—	—	—	—
3. 共同施設税	—	—	—	—	—
三 旧法による税収入	—	—	30,539	30,539	—
合 計	3,688,216	19,657	1,022,680	4,730,553	3,351,936
国民健康保険税	243,576	—	142,890	386,472	197,730

度市町村税徴収実績

(県税務課調)

(単位千円)

入 済 額			取 入 歩 合			
年度 (ア)	繰越分 (イ)	計 (ウ)	$\frac{(ウ)}{(イ)}$	$\frac{(ウ)}{(ウ)}$	$\frac{(ウ)}{(ウ)}$	$\frac{(ウ)}{(ウ)}$
18,296	391,485	3,740,071	91	93	39	80
18,296	391,485	3,740,071	91	93	39	80
16,185	101,918	877,786	92	93	35	78
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
62	988	5,633	92	95	42	76
14,180	7,847	174,310	96	94	53	93
1,756	270,558	1,994,228	87	97	42	76
1,756	270,558	1,913,752	87	97	42	75
17	158,502	1,076,182	86	28	42	75
164	97,549	658,317	86	95	42	75
1,575	14,507	179,253	92	100	46	85
—	—	80,476	100	—	—	100
—	—	13,602	100	—	—	100
—	—	66,874	100	—	—	100
—	15,277	151,905	89	—	32	75
196	—	419,750	100	100	—	100
159	8	248,120	100	100	100	100
—	2,276	40,927	96	—	59	93
—	1,203	6,854	74	—	25	56
—	240	495	72	—	91	80
—	—	—	—	—	—	—
—	—	21,641	88	—	—	88
—	—	21,641	88	—	—	88
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	5,974	5,974	—	—	20	20
18,296	397,459	3,767,686	91	93	39	80
—	30,096	227,827	87	—	21	59

本 県 内 に お け る 昭 和 31

種 別	総 数	4 月	5 月	6 月	7 月		
昭和 30 年 度	数 量	2,380,378	190,816	196,038	189,311	208,967	
	代 金	4,202,718,713	331,163,238	338,428,813	323,813,661	359,662,467	
昭和 31 年 度	数 量	2,307,891	184,466	194,090	187,394	193,662	
	代 金	4,330,526,830	340,993,297	362,713,419	349,278,596	363,623,467	
口付 { 朝 日	数 量	31,424	2,656	2,736	2,308	3,308	
	代 金	43,365,699	3,665,418	3,774,990	3,185,178	4,561,728	
両	小 計	数 量	2,139,262	169,764	179,243	172,811	178,302
		代 金	4,078,859,256	319,383,290	340,478,614	327,267,184	341,085,722
	富 士	数 量	1,950	278	120	174	234
		代 金	8,970,644	1,277,098	552,230	800,170	663,790
	ピ ー ス	数 量	80,615	5,656	5,683	5,359	6,622
		代 金	296,663,826	20,815,184	20,913,440	19,721,120	22,158,390
	光	数 量	94,360	8,503	8,731	8,125	8,522
		代 金	260,433,020	23,469,108	24,097,008	22,424,310	23,439,622
	パ ー ル	数 量	22,912	2,676	2,838	2,486	2,334
		代 金	63,236,016	7,386,312	7,833,156	6,861,498	6,053,622
切 い こ い	数 量	279,884	15,716	21,920	21,576	23,334	
	代 金	643,732,878	36,146,340	50,416,808	49,623,926	53,234,660	
新 生	数 量	1,120,991	89,823	94,639	90,021	96,679	
	代 金	2,062,622,962	165,274,688	174,135,944	165,638,456	177,335,390	
ゴールデンバット	数 量	538,551	47,112	45,312	45,071	42,334	
	代 金	743,199,911	65,014,560	62,530,008	62,197,704	58,149,660	
刻	小 計	数 量	137,205	12,045	12,112	12,274	11,622
		代 金	207,317,244	17,843,173	18,373,059	18,728,484	17,889,679
	ききよう	数 量	39,557	2,748	3,620	3,906	3,334
		代 金	72,785,340	5,056,320	6,659,880	7,186,212	6,277,660
み の り	数 量	97,467	9,266	8,484	8,363	8,522	
	代 金	134,504,874	12,787,218	11,712,474	11,541,492	11,667,722	
富 貴 煙	数 量	180	31	5	5	5	
	代 金	27,030	4,635	705	780	734	
パイプたばこ	小 計	数 量	571	45	66	51	51
		代 金	984,630	96,416	86,756	97,750	86,334
	桃 山	数 量	203	28	6	24	24
		代 金	561,522	76,314	17,526	66,930	66,334
日 光	数 量	368	17	60	27	27	
	代 金	423,108	20,102	69,230	30,820	30,334	

高 渡 売 別 月 ば た 度 手

調 査 地 方 水 戸 公 社 売 専 日 本

単 位 (数 量 … 千 本 ・ 疋 、 代 金 … 円)

月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
249,169	172,998	181,005	201,501	260,422	166,662	219,357	144,160
651,097	301,817,800	313,392,177	349,811,948	488,488,903	296,148,362	407,967,974	262,417,243
230,693	204,127	158,184	189,902	255,084	155,595	196,753	157,915
152,878	373,916,362	296,289,372	356,620,169	489,641,700	292,019,714	372,378,906	295,898,925
2,832	3,205	2,814	2,231	2,334	2,612	2,599	1,743
907,470	4,422,210	3,883,182	3,078,807	3,290,196	3,604,560	3,585,930	2,406,030
215,703	190,222	144,570	176,290	239,165	142,670	183,551	146,742
655,776	353,172,493	276,107,824	336,275,888	465,648,294	272,737,220	352,786,880	279,260,066
164	127	132	136	214	163	163	135
753,250	583,326	606,694	626,290	985,182	748,696	751,088	622,840
7,308	5,773	5,517	6,822	11,133	6,617	3,614	6,062
25,893,440	21,243,646	20,303,296	25,104,776	41,154,139	24,351,296	31,698,784	22,306,504
10,120	7,177	6,516	7,346	10,823	5,689	7,140	5,679
7,932,304	19,809,403	17,983,884	20,274,380	29,871,286	15,700,260	19,706,952	15,674,592
2,280	1,512	1,317	1,558	2,108	1,245	1,491	1,208
6,293,352	4,172,844	3,635,196	4,293,976	5,819,046	3,434,820	4,113,918	3,332,976
31,985	21,520	20,194	21,517	34,641	19,464	25,818	22,389
73,566,420	49,495,770	46,445,602	49,487,950	79,673,380	44,766,510	59,381,630	51,493,642
115,459	98,243	74,129	97,359	129,293	70,945	94,533	70,169
12,444,192	108,766,826	136,397,728	179,139,824	237,898,568	130,539,536	173,941,272	129,110,408
48,386	55,870	36,705	41,553	50,903	38,545	45,792	41,101
66,772,818	77,100,582	50,735,424	57,343,692	70,246,692	53,196,102	63,193,236	56,719,104
12,159	10,701	10,800	11,381	13,534	10,313	10,603	9,430
13,485,580	16,246,950	16,237,416	17,133,637	20,592,120	15,607,830	15,944,640	14,179,377
3,754	3,295	2,912	3,225	4,209	3,003	2,928	2,547
6,907,176	6,063,168	5,357,160	5,934,552	7,744,008	5,524,968	5,387,520	4,686,480
8,383	7,376	7,834	8,151	9,308	7,306	7,647	6,878
11,575,854	10,179,432	10,879,506	11,248,380	12,845,592	10,082,142	10,552,860	9,492,192
17	29	5	5	17	5	28	5
2,550	4,350	750	705	2,520	720	4,260	705
64	45	34	46	66	42	36	30
104,052	74,704	60,950	81,834	111,090	70,104	61,456	53,452
18	14	13	18	22	13	12	12
50,922	39,054	36,570	50,094	60,030	36,984	34,086	32,292
46	31	21	28	44	29	24	18
53,130	35,650	24,380	31,740	51,060	33,120	27,370	21,160

昭和33年度市町村別負担金額一覽表

茨城県統計協会

市町村名	人口 32年12月末現在	負担金算出基礎 (円)			負担金決定額
		人口割 (80%)	平均割 (20%)	計	
県計	2,081,246	228,937	57,960	286,897	286,897
市計	830,106	91,312	9,450	100,762	100,762
水戸市	181,479	14,463	630	15,093	15,093
日立市	144,321	15,875	630	16,505	16,505
土浦市	72,362	7,960	630	8,590	8,590
古河市	41,173	4,529	630	5,159	5,159
石岡市	36,587	4,025	630	4,655	4,655
下館市	52,568	5,782	630	6,412	6,412
結城市	39,562	4,352	630	4,982	4,982
竜ヶ崎市	34,078	3,749	630	4,379	4,379
那珂湊市	34,031	3,743	630	4,373	4,373
下妻市	31,915	3,511	630	4,141	4,141
水海道市	39,613	4,357	630	4,987	4,987
常陸太田市	39,405	4,335	630	4,965	4,965
勝田市	37,932	4,172	630	4,802	4,802
高萩市	32,638	3,590	630	4,220	4,220
北茨城市	62,442	6,869	630	7,499	7,499
郡計	1,251,140	137,625	48,510	186,135	186,135
東茨城郡	139,575	15,353	5,670	21,023	21,023
常澄村	10,377	1,141	630	1,771	1,771
茨城町	31,642	3,481	630	4,111	4,111
小川町	16,434	1,808	630	2,438	2,438
美野里村	15,302	1,633	630	2,313	2,313
内原村	13,330	1,466	630	2,096	2,096
常北町	12,542	1,380	630	2,010	2,010
桂村	9,661	1,063	630	1,693	1,693
御前山村	7,958	875	630	1,505	1,505
大洗町	22,329	2,456	630	3,086	3,086
西茨城郡	96,234	10,536	3,150	13,736	13,736
笠間町	33,663	3,703	630	4,333	4,333
友部町	19,438	2,138	630	2,768	2,768
岩間町	14,444	1,589	630	2,219	2,219
七会村	4,321	475	630	1,105	1,105
岩瀬町	24,368	2,681	630	3,311	3,311
那珂郡	107,976	11,877	4,410	16,287	16,287
東海村	11,959	1,315	630	1,945	1,945
那珂町	31,207	3,433	630	4,063	4,063
瓜連町	7,229	795	630	1,425	1,425

町村名	人口 32年12月末現在	負担金算出基礎 (円)			負担金決定額 円
		人口割 (80%)	平均割 (20%)	計	
大宮町	25,957	2,855	630	3,485	3,480
山方町	13,918	1,531	630	2,161	2,160
美和村	9,006	991	630	1,621	1,620
慈川村	8,700	957	630	1,587	1,590
砂郷郡	79,186	8,710	2,520	11,230	11,230
水府村	15,713	1,728	630	2,358	2,360
里美子村	12,297	1,353	630	1,983	1,980
大賀町	8,231	905	630	1,535	1,540
賀郡	42,945	4,724	630	5,354	5,350
王島郡	11,119	31,223	630	1,853	1,850
島郡	11,119	1,223	630	1,853	1,850
田村	122,115	13,433	4,410	17,843	17,840
田村	12,116	1,333	630	1,963	1,960
洋野村	29,764	3,274	630	3,904	3,900
大野村	10,851	1,194	630	1,824	1,820
島野村	11,246	1,237	630	1,867	1,870
栖崎町	16,271	1,790	630	2,420	2,420
方郡	16,990	1,869	630	2,499	2,500
生堀町	24,877	2,736	630	3,366	3,370
来浦村	74,875	8,236	3,150	11,386	11,380
北玉敷郡	21,210	2,333	630	2,963	2,960
江浦村	7,109	782	630	1,412	1,410
阿見町	17,859	1,964	630	2,594	2,590
新利根村	12,999	1,430	630	2,060	2,060
川内村	15,698	1,727	630	2,357	2,360
河東村	114,955	12,645	5,670	18,315	18,320
治郡	13,506	1,486	630	2,116	2,120
出島村	9,775	1,075	630	1,705	1,700
玉里村	21,806	2,399	630	3,029	3,030
八千代村	6,448	709	630	1,339	1,340
新利根村	15,969	1,757	630	2,387	2,390
河内村	9,909	1,090	630	1,720	1,720
東治郡	9,303	1,023	630	1,653	1,650
新出島村	13,902	1,529	630	2,159	2,160
玉里村	14,337	1,577	630	2,207	2,210
八千代村	88,888	9,777	3,780	13,557	13,570
新出島村	19,593	2,155	630	2,785	2,780
玉里村	5,494	604	630	1,234	1,230
八千代村	33,001	3,630	630	4,260	4,290
新利根村	12,175	1,339	630	1,969	1,970
河内村	9,044	995	630	1,625	1,620
東治郡	9,581	1,054	630	1,684	1,680
新出島村	96,467	10,611	3,780	14,391	14,390
玉里村	21,950	2,415	630	3,045	3,040

市 町 村 名	人 口 32年12月末現在	負 担 金 算 出 基 礎 (円)			負担金決定額
		人 口 割 (80%)	平 均 割 (20%)	計	
伊 奈 村	12,602	1,386	630	2,016	2,020
谷 和 原 村	11,508	1,266	630	1,896	1,900
豊 里 町	12,127	1,334	630	1,964	1,960
筑 波 町	25,941	2,853	630	3,483	3,480
大 穂 町	12,339	1,357	630	1,987	1,990
真 壁 郡	81,198	8,932	3,150	12,082	12,080
関 城 町	15,664	1,723	630	2,353	2,350
明 野 町	18,544	2,040	630	2,670	2,670
真 壁 町	23,330	2,566	630	3,196	3,200
大 和 村	8,662	953	630	1,583	1,580
協 和 村	14,998	1,650	630	2,280	2,280
結 城 郡	56,332	6,197	1,890	8,087	8,080
八 千 代 村	26,167	2,879	630	3,509	3,510
千 代 川 村	9,246	1,017	630	1,647	1,650
石 下 町	20,919	2,301	630	2,931	2,930
猿 島 郡	125,836	13,842	3,780	17,622	17,620
総 和 村	20,681	2,275	630	2,905	2,900
五 霞 村	9,855	1,084	630	1,714	1,720
三 和 村	20,596	2,266	630	2,896	2,900
猿 島 町	15,829	1,741	630	2,371	2,370
岩 井 町	35,195	3,871	630	4,501	4,500
境 町	23,680	2,605	630	3,235	3,230
北 相 馬 郡	56,384	6,203	2,520	8,723	8,720
守 谷 町	12,038	1,324	630	1,954	1,950
取 手 町	21,761	2,394	630	3,024	3,020
藤 代 町	12,897	1,419	630	2,049	2,050
利 根 町	9,688	1,066	630	1,696	1,690

備 考

- (1) 人口割は総額の80% (32年度70%) として人口1人当り11銭 (32年度10銭7厘) である。
- (2) 平均割は総額の20% (32年度30%) とし1市町村平均630円 (32年度960円) である。
- (3) 市町村別負担額の算出に当つては、昭和33年4月1日までに合併することを決定している町村の分は、額の公平を期するために東茨城郡赤塚村は水戸市に、石崎村は茨城町に、西茨城郡稲田町は笠間町に、大須賀村は東村、金江津村は河内村へそれぞれ加算している。



(統)(計)(用)(語)(の)(解)(説)

【TWI 訓練】 Training Within Industryの略、職場に於ける第一線の監督者の監督能力を向上させ、生産能力を高めるための訓練方式で、特に仕事の教え方、作業改善の仕方、人の扱い方について講習会を開き、実践と討議を中心として訓練する。

〔流動資産〕 企業資産のうちで現金預金および換金性の高い売掛金や受取手形ならびに短期間に弁済される債権よりなる当座資産、また循環的に使用される原材料や製品商品より成る 棚卸資産などを流動資産という。

編 集 室

今年は暖冬異変のためか、一雨ごとに暖かくなり、2月中旬にはすでに梅の名所借楽園や弘道館公園の梅もほころびはじめ、今や3月2日の第1観梅デーを前にして満開となり、毎日多くの観梅客を呼んでいる。きびしい寒気と風雪によく耐えて春を待ち、百花に先がけて花を開く梅は誠に強じんで、桜の花のような華やかさはないが、その清らかな趣と芳香を持つ高雅さは他の遠くおよばないところである。特に数十種、数千本の老梅が咲き香る由緒深い古園の風雅な趣はますます懐古の情を深くしてくれる。表紙の写真は観梅客でにぎわう借楽園である。

昭和33年度の委託調査事業予算が内定したが、今年は商業調査と住宅調査および沿岸漁業調査が新たに行われることになったが、大きな調査のあるたびに市町村の統計関係者をはじめ調査員の皆さんが大変な御苦労をされる。しかし予算の幅は従前どおりにもかかわらず、調査内容が増加し、かつ複雑化されているので誠に気の毒であるが、関係者の質の向上と調査方法の合理化によつてこの難関をよく克服していただきたいと思う。

◎さる2月12日に県町村会において、市町村負担金審議委員会が開かれたが、統計協会の分は前年に比べ1割削減されてしまった。私たち協会関係者とはややもすれば軽視されやすい調査統計事業の振興発展のために少い予算と人員という困難な条件を克服してゆめぬ努力を続けてきたことを思うと誠に残念至極である。統計協会としては、他団体においてはできないような講習会、研修会をはじめ、優良出版物の頒布などを行っていることが、まだまだ市町村の理事者の方には御認識願えないようである。 (N生)

寄 稿 募 集

1. 内 容 調査統計についての意見、体験、その他
2. 用 紙 原稿用紙を用い約2,000字程度のもの
3. 切 毎月10日まで
4. あて先 水戸市北三の丸

茨城県調査企画課内

茨城県統計協会

なお御投稿の方には薄謝を贈ります。